

住北だより

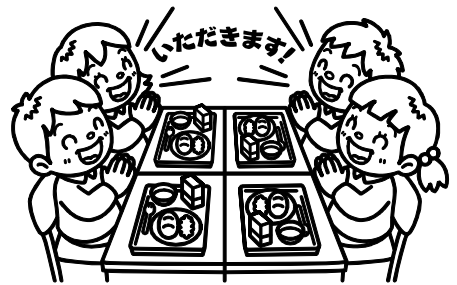
平成 25 年 9 月 1 2 日
大東市立住道北小学校
校長 武内 秀人
第 1 6 号

☆今回の「住北だより」も子どもたちへのおたよりです（^ 〇 ^）v

食べ物は「いのち」。食べ物を大切にしよう！

みなさん、朝のあいさつは何と言っていますか？そうですね、「おはようございます」ですね。それはだれにむかって言いますか？朝起きたときは、家族の人に言いますし、登校途中は、横断歩道などで安全を見守ってくださっている地域の人ですね。学校では先生や友だちです。

では、ごはんや給食を食べる時にはどんなあいさつをしますか？はい、正解！「いただきます」ですね。では、だれにたいして「いただきます」と言うのでしょうか。家のごはんのときは、ごはんを作ってくれた家族の人ですし、給食では給食を作ってくれた給食室の調理員さんですね。



じつはまだ答えがあります。それは「食べ物」に「いただきます」を言うのです。たとえば、今日（12日）の給食の献立は、フィンガーパンと牛乳、コーンラーメン、おこのみあげとソースです。パンやおこのみあげは小麦という植物の種を粉にしたもので作っていますし、コーンラーメンにはやきぶた（ぶた肉から作る）やかまぼこ（魚肉から作る）が入っています。すべて植物や動物などの命ある生き物から「食べ物」はできています。だから、私たちが「いただきます」というときは、その「いのち」をいただくので、「いただきます」と言うのですよ。

○**給食残り調べをします**
9月9日(月)~20日
(金)まで、給食委員会
の子どもたちが各学級の
残った給食の量を調べま
す。残さず食べるように
努力しましょうね！

私たちが「おいしい、おいしい」とごはんを食べて元気になることができるのは、食べ物の「いのち」のおかげです。ごはんをのこさず食べることや食べ物をそまつにしないことなど、食べ物を大切にすることは「いのち」を大切にすることと同じです。

みなさんも元気に「いただきます」とあいさつして、食べ物に感謝しましょう。

「うさぎのラビちゃん ありがとう」

たけうち ひでと

8月30日の朝 うさぎのラビちゃんが死んでいました
ラビちゃんがなくなった場所は うさぎ小屋のうしろのみぞの中でした
逃げようとしていたのか みぞの穴の中に入ったところにたおれていました

前夜のことだと思います 「いたち」という動物がうさぎ小屋にしん入して
2わのうさぎにおそいかかったのではないかと想像（そうそう）します
長細い5センチぐらいのウンチが小屋の中にのこっていました
それは「いたち」のウンチだったのです

ラビとラッキーは地面にほった穴から逃げました
ラッキーは体育館の方のみぞの穴に逃げこみました
ラビはもう「いたち」にかまれていたためか
遠くに逃げることはできませんでした



かわいそうに何か所か体にかじられたあとがのこっていました
教頭先生といっしょにラビのお墓（はか）をつくりました
みんなにかわいがられていたラビちゃん 手を合わせておいのりしました

ラビとラッキーは3年前に住北小にやってきました
大東市の竜間（たつま）というところでたくさん動物をかっておられる方が
住北小の子どもたちのために うさぎの赤ちゃんを贈ってくださいました
うさぎ小屋も環境整備員さんが 手作りで作ってくださいました
きつとふわふわの丸くて小さい2わのうさぎに
子どもたちは夢中になったと思います

もしうさぎがしゃべることができたら
うれしかったことや楽しかったこと 悲しかったことやこわかったことも
いっぱい、いっぱいお話してくれたと思います
ラビがなくなったあとも みんな心配して
うさぎ小屋にきて ラッキーに話しかけてくれています

うさぎのラビちゃん ありがとう
三さいの命だったけど ラビちゃんのことにはわすれません
住北小の子どもたちの心の中で
きつと今もびよんびよんはねて遊んでいるよ